

札幌市下水道事業中期経営プラン 2025（案）
【パブリックコメント意見集】

令和 3 年（2021 年）7 月
札幌市下水道河川局

市政等資料番号
01-L01-21-1173

目次

1	意見募集の概要	1
2	意見の内訳	2
3	意見の概要とそれに対する札幌市の考え方	3

1 意見募集の概要

(1) 募集期間

令和3年4月15日（木）～令和3年5月18日（火）

(2) 意見提出方法

持参、郵送、ファックス、電子メール、
ホームページ上の意見募集フォーム

(3) 資料の配布・閲覧場所

- ・ 下水道河川局 経営管理部 経営企画課（下水道河川局庁舎 3階）
- ・ 市政刊行物コーナー（札幌市役所本庁舎 2階）
- ・ 各区役所 総務企画課 広聴係
- ・ 各まちづくりセンター
- ・ 札幌市下水道科学館
- ・ 札幌市公式ホームページ

2 意見の内訳

(1) 提出者の年代別内訳

年代	意見提出者数	意見数
19歳以下	0人	0件
20歳代	2人	4件
30歳代	0人	0件
40歳代	1人	1件
50歳代	1人	2件
60歳代	2人	4件
70歳以上	0人	0件
合計	6人	11件

(2) 提出方法別内訳

提出方法	意見提出者数	構成比
持参	0人	0.0%
郵送	0人	0.0%
ファックス	1人	16.7%
電子メール	5人	83.3%
ホームページ	0人	0.0%
合計	6人	100.0%

(3) 意見の内訳

分類	意見数	構成比
第1章 策定にあたって	0件	0.0%
第2章 5年間の取組	8件	72.7%
第3章 中期財政見通し	1件	9.1%
第4章 進行管理	0件	0.0%
参考資料	0件	0.0%
その他	2件	18.2%
合計	11件	100.0%

3 意見の概要とそれに対する札幌市の考え方

いただいたご意見の概要と、札幌市の考え方は以下のとおりです。

No.	頁	意見の概要	市の考え方
第2章 5年間の取組（8件）			
2 災害に強い下水道の構築			
1	11	内水ハザードマップの公開方法を教えて欲しい。ホームページ以外にも、市民に周知する方法を考えているのか。	内水ハザードマップは令和3年度末の公表を予定しており、周知方法としては、多くの市民の方にご覧いただけるように、札幌市公式ホームページに掲載するほか、印刷物の配布など様々な方法を検討しています。
5 財務体質の強化			
2	20	コスト縮減の取組として、水再生プラザ運転管理業務の委託を継続するとしているが、拡大していく必要があるのではないか。	札幌市では、これまでに水再生プラザの運転管理業務を、専門技術を有する民間企業に委託することで業務を効率化し、コストを縮減してきました。 一方で、札幌市の技術力を継承していくためには、札幌市による水再生プラザの運営も維持していく必要があると考えており、運転管理業務の委託については、業務の効率化と技術力の継承の双方の観点から検討していきます。

No.	頁	意見の概要	市の考え方
5 財務体質の強化			
3	20	<p>人材不足や働き方改革へ対応するための、AIを活用した技術の導入や、今以上のサービスの向上のための、手続きのデジタル化は考えているのか。</p>	<p>札幌市では、AIを活用した業務の効率化や、国が調査・研究を進めている新技術の適用可能性について検討しています。</p> <p>また、手続きのデジタル化など、更なるサービスの向上や業務の効率化を図るため、他都市の導入事例の把握に努めていきます。</p>
6 運営体制の強化			
4	24	<p>札幌市は高い技術力や優れた組織力を有しており、市の職員が派遣されている日本下水道事業団の業務などを通じて、道内他市町村の事業運営に貢献しているが、更なる貢献をお願いしたい。例えば、札幌市下水道資源公社の業務範囲や業務区域を拡大するなど、脆弱な道内他市町村の事業運営を直接支援するしくみを作ってはどうか。</p>	<p>現在、札幌市では、石狩市からの下水・汚泥の受入れや、下水道資源公社と連携し、道内自治体職員を対象として研修を実施するなど、広域的な取組を行っているところですが、今後も、これらの取組を継続するとともに、下水道資源公社などとも連携し、どのような取組が実施できるか検討していきます。</p>

No.	頁	意見の概要	市の考え方
6 運営体制の強化			
5	24	<p>札幌市では、過去に JICA 及び国土交通省下水道部を通じ、発展途上国の下水道技術者に対する研修を実施していたが、国際貢献の観点から、同様の研修を再開してはどうか。</p>	<p>現在、下水道河川局単独では発展途上国の技術者を対象とした研修を受け入れていませんが、他局で受け入れている環境保全などに関する研修の中で、カリキュラムの一つとして、下水道の講義を行っています。</p> <p>また、このほか、JICA や国土交通省などの要請に応じ、視察の受入れや講義を実施しており、今後も、国際貢献の観点から、このような取組を継続していきます。</p>

No.	頁	意見の概要	市の考え方
6 運営体制の強化			
6	24	<p>下水道事業は市民生活に欠かせないライフラインであるため、民間任せではなく、行政が責任をもって維持管理すべきであり、PPP/PFIの導入に反対である。</p>	<p>札幌市では、DB（Design Build ※）など、多様なPPP/PFIについて検討し、民間の創意工夫などを活用した効率的な事業運営に努めることとしていますが、引き続き、札幌市による水再生プラザの運営を3つの水系別に維持することなどにより、現状のサービスの質を低下させることなく、将来にわたり良好な下水道サービスを提供していきます。</p> <p>※ 設計（Design）と建設（Build）を一括して発注する手法</p>

No.	頁	意見の概要	市の考え方
7 下水道の見える化			
7	25	<p>下水道科学館の来館者数について、2022年度の計画では2021年度から3万人増を目指している。現在は、比較的小さい子ども向けの内容が多いようだが、今後、夜の水族館のようにデートスポットにするなど、SNSや口コミで拡散力があると思われる10代～30代をターゲットとしたPRを増やすと、効果的になると思う。</p>	<p>2021年度の来館者数については、新型コロナウイルス感染症の影響による来館者数の減少を考慮していますが、2022年度以降、例年実施しているイベントのほか、科学館の見学と併せて、普段目にするのでできない、大規模工事を行う下水道施設の見学会を開催するなど、新たな取組を実施することで、年間5万人の来館者が見込めると考えています。</p> <p>また、ご意見のとおり、現在の取組については、子どもたちに向けた内容が多いことから、若い世代をはじめ、幅広い世代の方にご来館いただけるような取組を検討していきます。</p>

No.	頁	意見の概要	市の考え方
7 下水道の見える化			
8	25 ・ 26	<p>小学生を対象とした出前授業について、中学生や高校生に対しても実施を検討してはどうか。</p>	<p>札幌市では、小学生を対象とした出前授業と比較して実績は少ないものの、中学生や高校生を含む幅広い世代を対象とした出前講座を実施しています。</p> <p>今後も、下水道に対する理解を深めていただくため、出前授業や出前講座を活用していただけるよう、積極的なPRに努めていきます。</p>

No.	頁	意見の概要	市の考え方
第3章 中期財政見通し（1件）			
2 中期財政見通し			
9	28	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により下水道使用料の減収が懸念される。2022年度の使用料収入について、計画では収入額が回復する見通しとなっているが、引き続き影響を受けると考えられることから、今後、適正な事業計画のもとで使用料収入の見通しや使用料を見直すことが必要ではないか。</p>	<p>本プランの財政計画では、下水道使用料収入について、2021年度中に企業への経済対策や、国民へのワクチン接種が進むことによる経済活動の回復を前提に、2022年度にはコロナ前の水準まで回復する見通しとしています。</p> <p>しかし、今後の新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況は不透明であることから、毎年度の使用料収入や資金残高の推移など、財政状況を把握しながら、適正な受益者負担の検討を進めていきます。</p>

No.	頁	意見の概要	市の考え方
その他（2件）			
10	-	<p>下水道（汚水、雨水）のしくみがわかるようなイラストを掲載してはどうか。</p>	<p>本プランでは、今後5年間の具体的な事業や財政見通しをまとめており、ご意見にある下水道のしくみや役割については、別のパンフレット（※）でわかりやすく紹介しています。</p> <p>札幌市では、情報発信する内容を明快にすることや、読みやすさを意識し、テーマに応じて冊子やパンフレットを使い分けていますが、ご意見を参考にしながら、よりわかりやすい広報に努めていきます。</p> <p>※「札幌市の下水道」（P.2～5）</p> <p>ホームページアドレス https://www.city.sapporo.jp/gesui/pamphlet/sapporo_gesuidou.html</p>

No.	頁	意見の概要	市の考え方
11	ー	<p>中期経営プラン 2025 では、事業費がかかりそうな広報事業を積極的、優先的に実施するように見受けられるが、中期経営プラン 2020 で目標を達成できなかった事業について、優先順位を上げて取り組む必要があると思う。</p>	<p>中期経営プラン 2020 で、当初の計画通りに実施できず先送りした事業については、中期経営プラン 2025 で確実に実施していきます。</p> <p>また、広報事業についても、下水道に対する理解を深めていただくために重要な取組であることから、今後も効果的な情報発信に努めていきます。</p>

札幌市下水道河川局 経営管理部 経営企画課

TEL : 011-818-3452 FAX : 011-812-5203

E-mail : gesui@city.sapporo.jp